

2024年3月期 連結決算の概要

2024年5月16日

↓ をクリックすると動画が視聴できます2024年5月16日 決算説明会

株式会社今仙電機製作所

東証スタンダード・名証プレミア 証券コード:7266



I.2024年3月期 連結決算概要 常務執行役員

萩元 達也

II.2025年3月期 連結業績見通し 常務執行役員

萩元 達也

Ⅲ. 今後の取組み

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充



I.2024年3月期 連結決算概要 常務執行役員

萩元 達也

II. 2025年3月期 連結業績見通し 常務執行役員

萩元 達也

Ⅲ. 今後の取組み

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充



(単位:百万円)

	23/3期 実績	24/3期 開示予想※	24/3期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	99,730	100,600	99,730	▲0	▲0.0%
営業利益	▲ 770	70	14	+784	_
経常利益	28	500	260	+232	+828.6%
当期純利益	▲ 2,053	▲ 920	▲ 71	+1,982	_

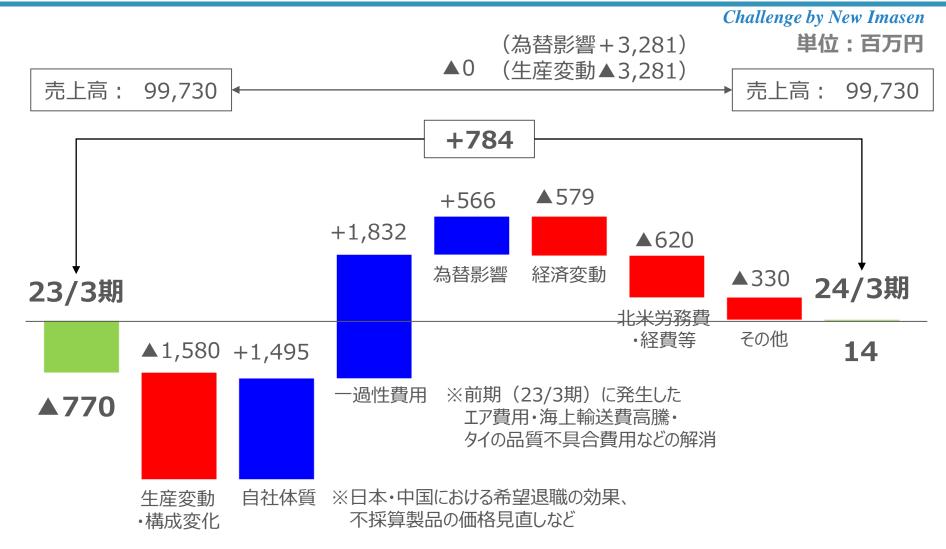
※開示予想値は24年2月の修正開示によるものとなります

4-		23/3期 実績	24/3期 開示予想	24/3期 実績
為 替	USD CNY THB	131.62円 19.50円 3.75円	140.60円 19.80円 4.00円	140.67円 19.82円 4.04円

※為替レートは海外子会社の会計期間である1-12月の平均値となります

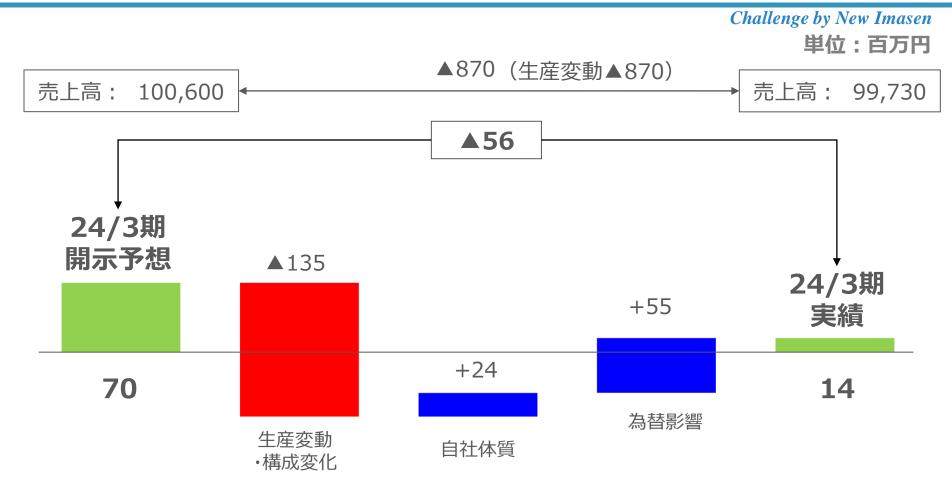
2024年3月期 営業利益(前期実績対 当期実績)





中国を中心に生産減少となったが前期一過性費用の解消により損失縮小



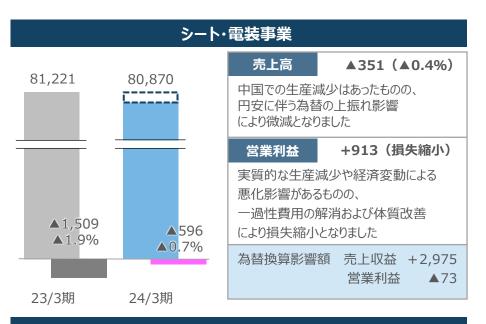


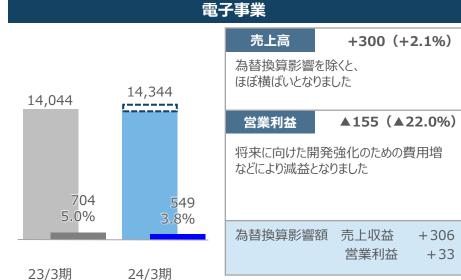
- ※開示予想値は24年2月の修正開示によるものとなります
- ※海外子会社は1-12月決算であるため、上記変動は国内事業の変動影響となります

納入先の国内工場生産停止の影響による売上減少により下振れ

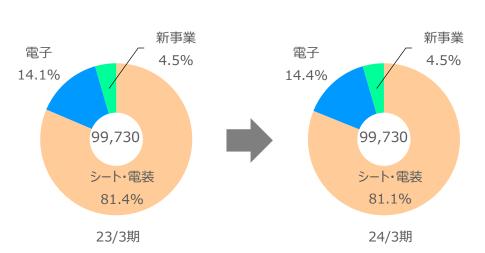


(単位:百万円)





新事業 売上高 +51 (+1.1%) ほぼ横ばいとなりました 営業利益 +26 (+74.3%) 4,465 4,516 航空機・産業カメラ領域の回復により 増益傾向が継続しております 61 35 1.4% 0.8% 為替換算影響額 売上収益 0 営業利益 0 23/3期 24/3期



事業別 売上高構成

※新事業には、既存事業である非自動車関連事業を含みます。

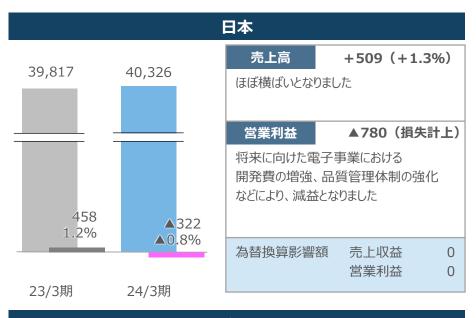
©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD. All rights reserved.

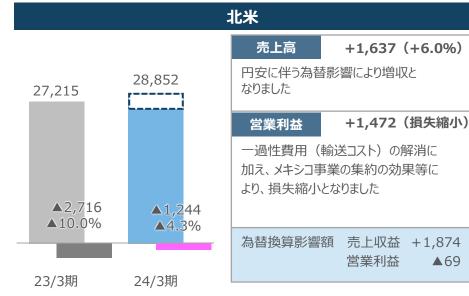
2024年3月期 地域セグメント別実績



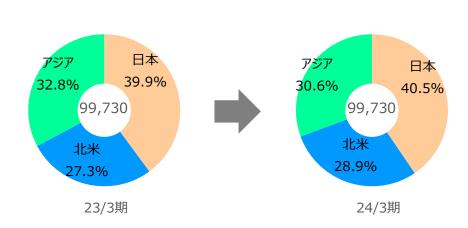
Challenge by New Imasen

(単位:百万円)





アジア 売上高 **▲2,146 (▲6.6%)** 32,697 30,551 中国での生産減少により減収と なりました **▲328 (▲20.0)** 営業利益 中国における減収に対し、 希望退職など体質改善を進めたほか、 タイでは品質不具合の□スを解消し、 体質強化に取り組みました 1,636 1,308 5.0% 4.3% 為替換算影響額 売上収益 +1,407 営業利益 +2923/3期 24/3期



地域別 売上高構成



(単位:百万円)

設備投資				
	23/3期	24/3期	 増減額	
国内	1,170	1,908	738	
北米	330	201	▲ 129	
アジア	936	1,355	419	
合計	2,436	3,464	1,028	

<当期の主な投資内容>

- ・国内 新規車種立ち上げに伴う金型投資により 増加
- ・北米 前期における新規車種立ち上げの投資に 対し減少
- ・アジア 中国における内製化・現調化により増加

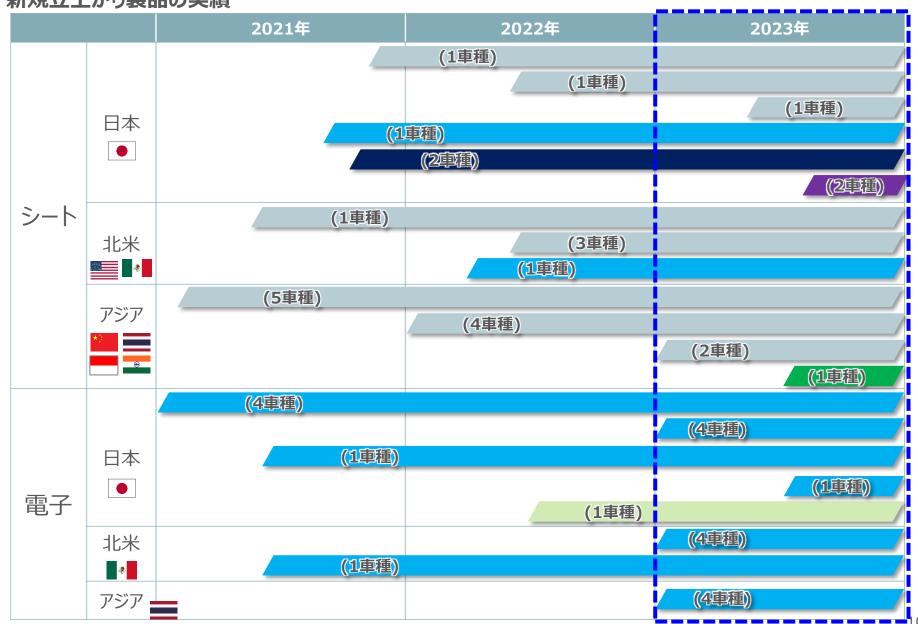
	23/3期	24/3期	増減額
国内	1,320	1,346	26
北米	446	477	31
アジア	1,182	1,132	▲ 50
合計	2,949	2,956	7

- ・国内 前期における電子事業への投資により増加
- ・北米 前期における新規車種立ち上げの投資により増加
- ・アジア 前期における投資抑制により減少



新規立上がり製品の実績

Challenge by New Imasen





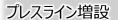
■シート・電装事業

【能力増強】



新規受注製品に向けた能力増強 (プレスライン増設、建屋増築)

インド工場







建屋增築

【現調化推進】

中国 武漢工場

コスト競争力強化のため内製化を 行い、一貫生産体制を構築 」(第三期工場増設、塗装設備導入)

塗装設備



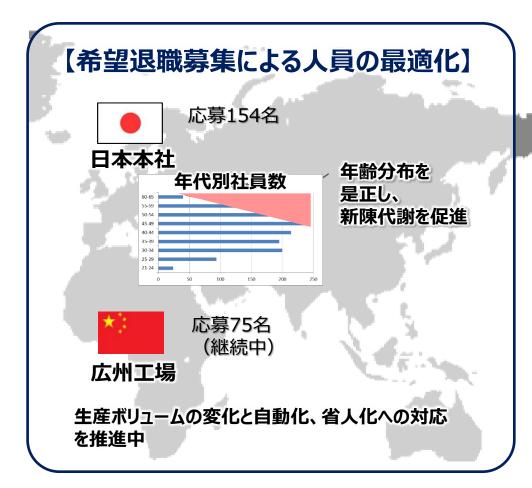


第三期工場増設 (プレスライン増設)

現地鋼材の採用を開始、コスト低減につなげる



■シート・電装事業





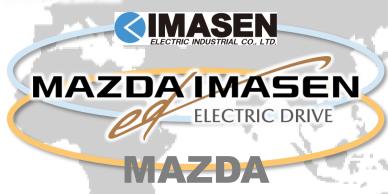


■電子事業

電動駆動領域

【広島工場の生産技術部門を増強】

マツダ イマセン エレクトリックドライブ社 との連携により、高効率な生産技術 開発を加速



飛躍に向けた生産技術開発および生産体制の基盤構築



REAR-ESU

リア側ランプ類、リアワイパー、トランクラッチ、 4WD等を制御する製品



DASH-ESU

エアコン、バックルスイッチ、DriveModeスイッチ、イルミネーション等を制御する製品



21年	22年	23年
● 4車種		
		4車種 ● ■ ■ ■

海外での供給体制拡大 搭載車種を増やす



■新事業







I. 2024年3月期 連結決算概要 常務執行役員

萩元 達也

II.2025年3月期 連結業績見通し 常務執行役員

萩元 達也

Ⅲ. 今後の取組み

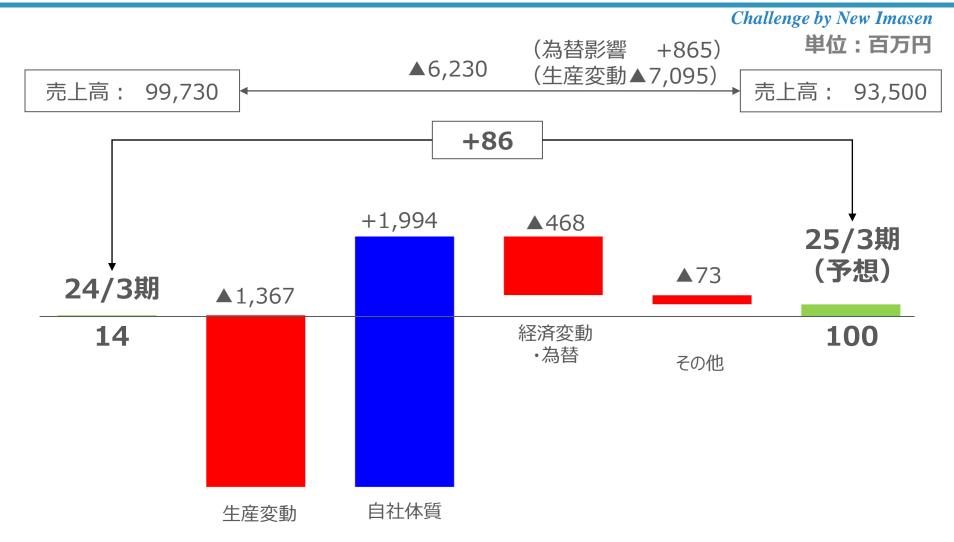
取締役 社長執行役員 櫻井 孝充



単位:百万円	24/3期	25/3期 (予想)	増減額	増減率
売上高	99,730	93,500	▲ 6,230	▲ 6.2%
営業利益	14	100	+86	+614.3%
経常利益	260	300	+40	+15.4%
当期純利益	▲ 71	1,400	+1,471	_

		24/3期	25/3期(予想)
為 替	USD CNY THB	140.67円 19.82円 4.04円	145.00円 20.00円 4.00円

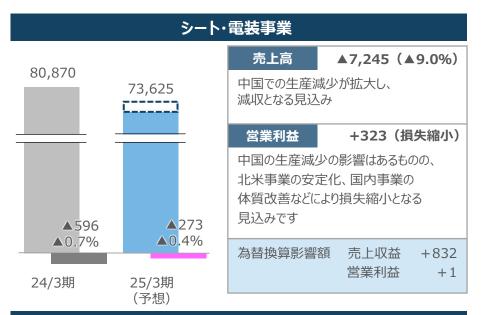


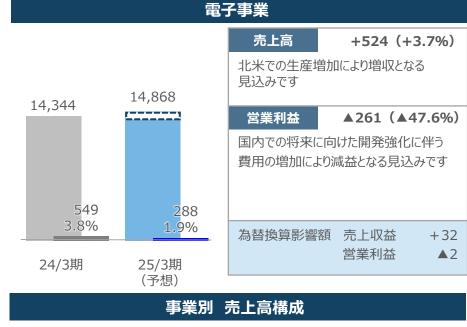


アジア地域の売上減少、賃金上昇等の外部環境悪化に対し自社体質改善に取り組む

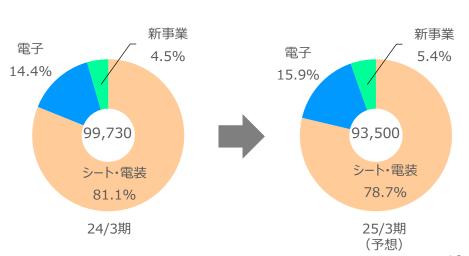


(単位:百万円)





新事業 売上高 +491 (+10.9%) 非自動車関連事業での生産増加 により増収となる見込みです 営業利益 +24 (+39.3%)5,007 4,516 既存の非自動車関連事業における 黒字体質安定により増益が続く見込み です 85 61 1.7% 1.4% 為替換算影響額 売上収益 0 24/3期 25/3期 営業利益 0 (予想)



※新事業には、既存事業である非自動車関連事業を含みます。

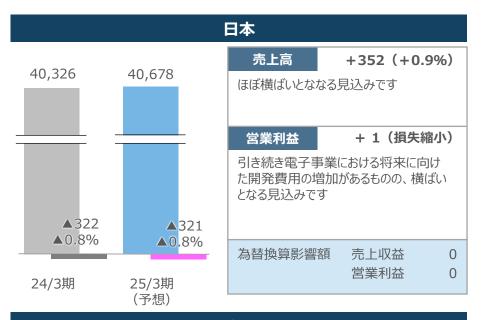
18

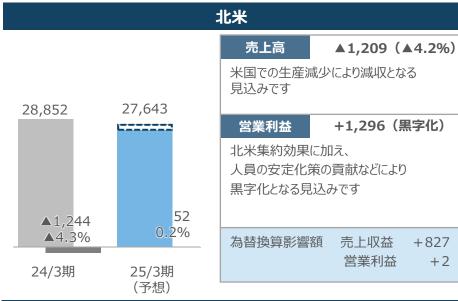
2025年3月期 地域セグメント別予想



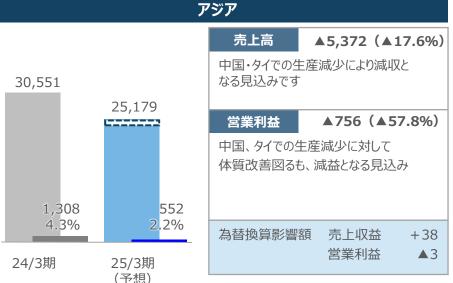
Challenge by New Imasen

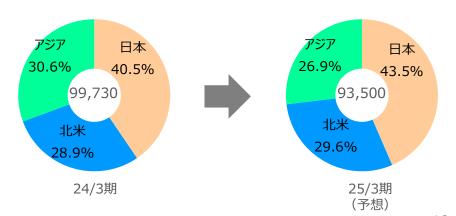
(単位:百万円)





地域別 売上高構成







(単位:百万円)

設備投資				
	24/3期	25/3期	増減額	
国内	1,908	2,030	122	
北米	201	1,342	1,141	
アジア	1,355	1,127	▲ 228	
合計	3,464	4,499	1,035	

<当期の主な投資内容>

- 国内電子事業への新機種開発関連の投資により増加
- ・北米 プレス設備の移管、次期車種生産準備の 投資により増加

減価償却費				
	24/3期	25/3期	増減額	
国内	1,346	1,473	127	
北米	477	366	1 111	
アジア	1,132	1,107	▲ 25	
合計	2,956	2,946	1 0	

- ・国内 前期における新製品立ち上がりへの投資と 太陽光発電導入により増加
- ・北米、アジア 前期における投資抑制により減少



I.2024年3月期 連結決算概要 常務執行役員

萩元 達也

II. 2025年3月期 連結業績見通し 常務執行役員

萩元 達也

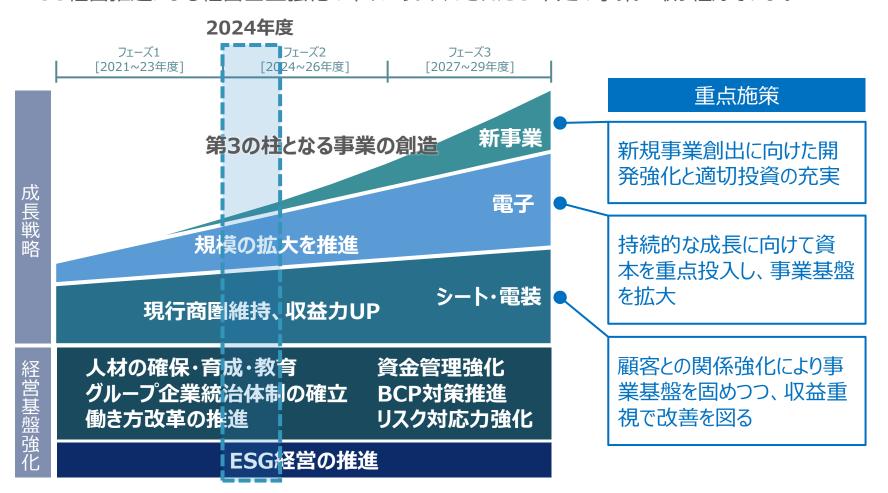
Ⅲ. 今後の取組み

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充



中長期経営計画2029

「中長期経営計画2029」で掲げる「持続的成長に向けた事業の変革」に向けて ESG経営推進による経営基盤強化の下、バランスのとれた3本足の事業へ取り組んでいます



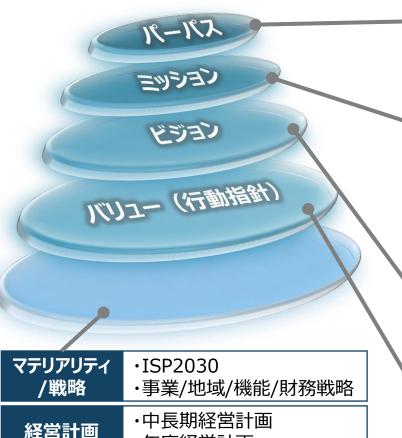


	Chattenge by New Imaset			
	方針	施策	評価	課題
シート・電装	・顧客との関係強化・コスト競争力強化	・テイ・エス テックとの協業活動・国内工場再編・海外拠点の最適化	0	・テイ・エス テックとの シナジー創出強化 ・IT活用等の加工技術 進化 ・製造収益基盤の再構築
電子	·開発体制強化 ·新製品投入	・新規ESUの受注 ・多品種混合生産ライン導入 ・MIED設立	0	・高稼働率の自動化・ 汎用化ラインの実現 ・開発人員増強
新事業	·開発·投資強化	・国内外の大学との共同研究・自治体との協定締結	0	・歩行事業の立上げ
経営	・ESG経営の推進 ・働き方改革	・グループ資金管理の一元化 ・働き方、人事制度見直し	0	・人材活用戦略、後任の 育成の推進 ・DXプロジェクトの推進
外部要因	・特殊鋼供給問題 ・客先の急な生産変動 ・災害や情勢不安に係		*	・変化に強くバランス感の ある盤石な経営基盤の 構築



企業の信念、全員が共有して持つべき意識・価値観・考え方として今仙フィロソフィーを構築

▶企業の存在意義を認識し、社員の一体感を育み企業文化を醸成することで企業価値の向上に寄与する



Purpose 存在意義

世界中の人々の幸せな移動をアシストする

■ Mission 使命

安全で快適な製品・サービスを創りあげ、 これを競争力のある価格で、時代に先駆け タイムリーに、世界のお客様へ提供する

■ Vision 目指す姿

持続的成長に向けた事業の変革

■ Value 価値観·行動指針

Trust & Challenge (信頼と挑戦)

•中長期経営計画

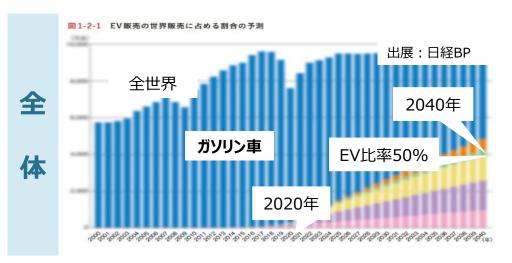
·年度経営計画

不確実な時代を勝ち抜くため、企業基盤の再構築を図る



事業環境変化

Challenge by New Imasen



世界的な環境配慮要求
SDGsの普及/COP26

→
EV市場の拡大 /EV車への置き換え
(2040年に新車半分はEVに)

→
EV化に開発リソース集約

シート事業

事

業

軸

- コモディティ化した製品は既存品の 長用化の流れ/価格低減要求
- ・ 自動運転により、EV化対応要求大

今までと同じではなく新しい提案が必要 EV価格競争激化への対応が必要

電子事業

地域により格差があるものの全体感としてはEV化の動き

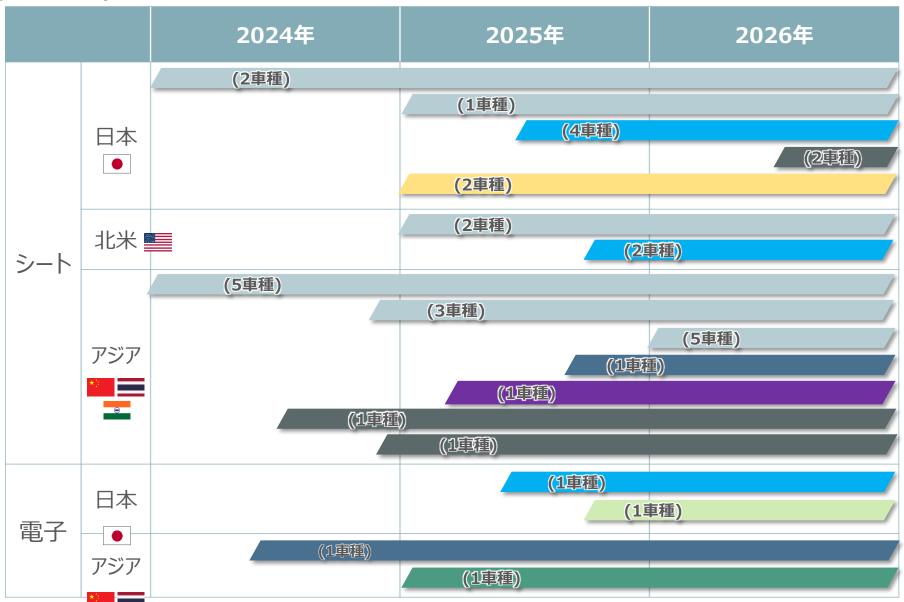
- · 大手完成車OEMは統合ECUに向かう
- 完成車OEMと部品メーカーの垣根が なくなる
- ソフトウエア・サービスで稼ぐ時代に

クルマに求められることがエンタメや快適などに変わり、OEMとの住み分けがされる中 今仙として乗り遅れない開発が必要



新規立上がり製品の予定

Challenge by New Imasen





事業領域に対する課題と主な重点戦略

	課題	重点戦略
シート・電装	・テイ・エス テックとの シナジー創出強化 ・IT活用等の加工技術進化 ・製造収益基盤の再構築	・テイ・エス テックとの相互連携推進 ・海外メーカーへの拡販 ・北米事業の再建 ・中国事業のコスト競争力強化 ・国内事業の黒字化
電子	・高稼働率の自動化・ 汎用化ラインの実現 ・開発人員増強	・電駆事業立ち上げに向けた準備推進・新製品領域への拡販強化
新事業	・歩行事業の立上げ	・市場調査、分析とともに事業化に向け 強化を図る
経営	・人材活用戦略、後任の 育成の推進 ・DXプロジェクトの推進	・役員体制の刷新・新人事制度の導入
外部要因	・変化に強くバランス感の ある盤石な経営基盤の構築	・財務体質の強化

重点戦略 役員体制の刷新

テイ・エス テックの代表取締役としての経験に基づく高い経営手腕により、スピード感をもった事業の建て直しの「舵(ゕぃ)取り」を担うまた新体制により弱点領域の強化を図る



新社長 と 新体制

▶社長直轄の組織体制

経営企画室 社長直轄プロジェクト 新事業開発 内部統制

※経営スピードの向上

▶テイ・エス テックより新たに取締役選任

管理本部長: 萩元 達也

シート・電装事業本部長:木澤豊

※豊富な経験と見識を最大限活用し強化



シート・電装事業

重点戦略 テイ・エス テックとの相互連携推進

インド事業において、 マルチスズキ向け受注拡大に伴い TSインド新工場建設に用地貸与

TS TECH SUN RAJASTHAN PRIVATE LIMITED [TSSR]

Imasen Manufacturing India Private Limited [IMIP]

TSSR/IMIP両社にメリット

- 部品物流費削減(トラック輸送不要)
- ・輸送・梱包要員削減
- ・部品在庫削減
- ・創出スペースの有効活用 など

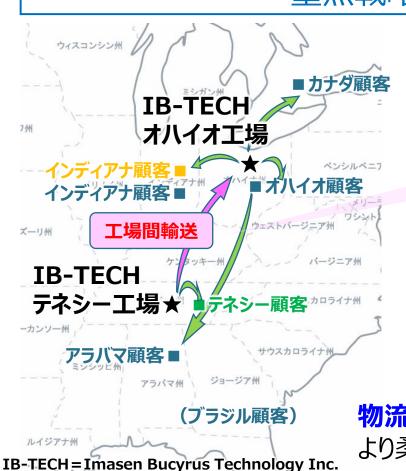


テイ・エステック株式会社との提携関係を活かした高効率生産



シート・電装事業

重点戦略 北米事業の再建



TNの大型プレス設備活用により、TNからOHへのプレス部品等の工場間輸送量が多く、物流費負担、在庫リスクなどが積年の課題



物流費の改善、在庫の削減に加え、

より柔軟に、最適な生産レイアウト検討を可能とする

引き続き最適な生産体制構築を追求・一貫生産体制を強化



電子事業

重点戦略 新製品領域への拡販強化

自動車の 電動化・スマート化

拡販強化

- ・新製品の開発推進
- ・新規顧客への拡販活動

電子事業の領域拡大

- ・新製品の市場投入
- ・新規顧客の獲得

【事例】

バックアップ電源 サンルーフ制御用ECU オイル/ウォーターポンプ制御用ECU

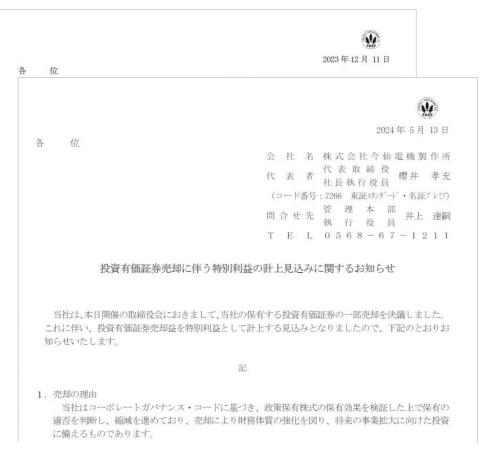
- ・新規得意先への拡販推進
- ※顧客のニーズに合わせて新機能製品を 提案、複数の新規RFQに対応中

電子技術のニーズ

ビジネスチャンスを逃さぬよう新製品領域・新規顧客の開拓にも積極的に取り組む

重点戦略 財務体質の強化

■政策保有株式の縮減推進



政策保有株式については 縮減を進めることを基本方針とする

前期の売却に引き続き、 当期も売却を進める

<開示内容>

売却銘柄数:上場有価証券1銘柄

売却益の発生予定日:

2024年5月13日

売却益(見込み): 2,900百万円

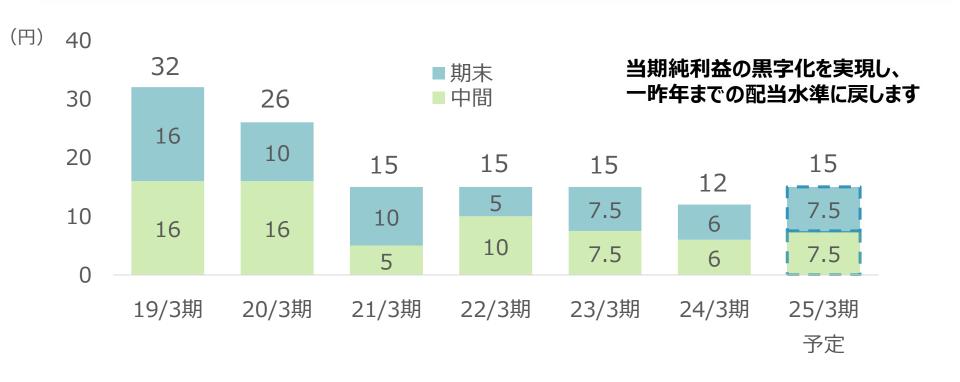
政策保有株の縮減を進めつつ、将来の投資に備えた財務体質の強化を図る



■配当予測

【配当方針】

持続的な成長を維持していく中で、財務体質と経営基盤の強化を図りながら株主の皆様への安定的・継続的な利益還元を行う



資本市場を意識した経営への対応について、株主還元方針を含めて検討中



Trust & Challenge

Challenge by New Imasen

- ・本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。 複写及び無断転載はご遠慮下さい。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- ・実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

○IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所 管理部 企画課 IR担当 TEL 0568-67-1517

URL : https://www.imasen.co.jp/contact/